



ピロリ菌と胃炎・胃がん 三浦内科 三浦正樹 先生



ピロリ菌は自身もつウレアーゼによって胃液中の尿素を分解しアンモニアを産生し、菌周囲の胃液を中性に保つ

- わが国におけるピロリ菌感染の多くは5歳までの幼小児期に起こり、感染経路の80%は家族内感染であることが報告されている。

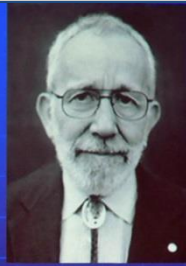


ピロリ菌の発見者

ロビン・ウォーレン
バリー・マーシャル



バリー・マーシャル



ロビン・ウォーレン

迅速ウレアーゼ試験

生検胃粘膜組織



三浦正樹 先生

小坂敏哉 会員



嶋田香織・会長から、永田哲也・会員へ

- 米山カウンセラー感謝状
- 2018~2019年度 国際ロータリー-2680地区
クラブ管理運営委員会 委嘱状の授与。